

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学人文社会科学系 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者を対象に、若手教員一括採用育成制度「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」を実施します。この制度は、本学においてそれぞれの専門分野の研究を深めると同時に、意欲をもって異分野横断研究を展開する研究者の育成を目的としたものです。

若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行います。各分野での専門性を中心とした1次選考、役員による総合的な観点による2次選考を実施し、採用者を決定します。採用された教員には専門分野に応じた学系等に所属するとともに、本学の研究推進を担う研究統括機構に兼務していただき、本学の新たなフラッグシップとなりうる新しい異分野融合研究の萌芽をもたらすための活動に従事していただきます。

公募分野

「情報倫理学」、「民俗学・博物館学」、「Society5.0時代における公正な競争のあり方に関する研究（経済法）」、「理論経済学（行動経済学）」、「食品分析・評価」、「知能情報処理、データサイエンス」、「地域環境水循環科学」、「定量生物学」、「エネルギー変換科学、人工光合成、光触媒」、「地盤工学およびその関連分野」、「生産工学または計測工学」、「国際感染症」、「学際融合歯科学分野」、「こころの発達医学分野」、「摂食機能再建工学」、「生物有機化学、微生物学、分子生物学、データサイエンス」、「神経生理学分野」、「先端的な脳病態解析に関する研究」

募集人数

15名程度を予定

本公募はその一環として経済法分野担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教（任期の定めなし）

2. 採用予定日

令和6年4月1日

3. 所属

人文社会科学系法学系列

ただし、担当する人文社会科学系法学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、採用時から原則として3年間、研究統括機構に兼務してスイングバイ・プログラム採用教員として活動していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科] 法学部

[職務内容]

1. 研究

- (1) Society5.0 時代における公正な競争のあり方に関する研究を進めて頂きます。
- (2) ELSI センターの教員と連携し、専門的知見を活かした分野横断的な研究にも寄与していただきます。

2. 教育

法学部「法経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）/独占禁止法」（2単位）、「経済法Ⅱ（公正競争阻害規制）」（2単位）、特殊講義、その他法学部オムニバス講義。英語による授業をご担当頂くことがあります。

3. 地域貢献：

ELSI センターと連携し、地方創生に資する人材育成のための教育に貢献いただきます。

※着任後原則3年間は研究統括機構の兼任教員としてスイングバイ・プログラムに参加する。

[専門分野] 社会法学（経済法）

[助教の場合の備考]

- ・PIとして活動していただきます。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後10年以内の者（着任日までに学位取得見込の者を含む）
- (2) 以下の条件のいずれかを満たす者（2項目以上を満たすことが望ましい）
 - ・専攻分野に関する単著、編著書、共著書のいずれかを有すること
 - ・専攻分野に関する学術論文を継続的に発表していること
 - ・大学における教育経験を有すること
 - ・大学及び学部の運営業務に積極的に貢献する意欲と能力を有すること
- (3) 以下の条件を満たすことが望ましい。
 - ・英語による授業を行えること
 - ・分野横断的な共同研究に意欲をもって取り組めること
- (4) スイングバイ・プログラムの趣旨を理解し、意欲をもって取り組むことのできる者
- (5) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟大学の五十嵐キャンパス、旭町キャンパス、その他指定する場所
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態
 - ・勤務時間：裁量労働制 みなし労働7時間45分
 - ・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 研究室の使用 有（20㎡程度）

7. スイングバイ・プログラム採用教員としての兼務期間の活動

採用者には分野を越えた一括採用制度であるスイングバイ・プログラムを活かすため、着任後3年間は研究統括機構に兼務していただき、次のような活動を求めます。

- ・部局・分野を越えたネットワークを主体的に構築していくこと。
- ・構築したネットワークを活かして異分野交流活動を行い、その成果を学内外に広く発信すること。

上記の実現のため、以下のような活動等があります。

- ・採用者同期会や異分野交流会の企画・運営
- ・年に一度以上の学長・理事との意見交換会
- ・大学での教育方法に関する研修
- ・スイングバイ・プログラムからのスタートアップ研究資金の配分

なお、本学には次のような研究支援体制があり、積極的な活用を期待します。

- ・全学的な機器共用制度
- ・科研費等の外部資金獲得サポート
- ・定期的な異分野交流会
- ・その他、教育研究活動のための研修

8. 応募書類

(1) 履歴書 (別紙様式4)

職歴欄には、講義・演習等の担当科目名をすべて明記して下さい。

(2) 教育研究業績書 (別紙様式5-1)

(3) 論文・著書等主要業績 (3点以内)

博士号取得者については、主要業績に学位論文を含めること。学位取得証明書及び提出可能であれば博士論文の審査概要を提出すること(後日提出でも可)

(4) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ1,600字~2,000字程度にまとめたもの

※ JREC-IN Portal からの Web 応募を行ってください(提出書類はすべて Word または PDF ファイルで作成し、提出書類すべてを1つの zip ファイルにまとめること)。

※電子データでの提出が難しい書類(著書)については、以下の著書提出先宛に2023年8月3日(必着)までに郵送にて送付願います。

<著書提出先>

新潟大学人文社会科学系総務課庶務係

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地

電話 025-262-6364 / ファックス 025-262-7663

* 提出書類は、「スイングバイ・プログラム(経済法)教員公募 応募書類 在中」と朱書きして、書留もしくはレターパックプラスでお送り下さい。

※ 本公募では業績リスト・外部資金獲得状況・主要論文の確認に researchmap を使用します。

(注1) 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

(注2) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

9. 選考スケジュール

- (1) 応募締切：令和5年8月7日(月) 17時 必着
- (2) 第1次選考：令和5年8月中旬 書面審査、面接審査(リモート面接の場合あり)
- (3) 第1次選考結果通知：令和5年9月下旬

(4) 第2次選考：令和5年10月中旬～11月中旬（予定） 役員による面接審査（リモート面接の場合あり）

(5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知

※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地

新潟大学人文社会科学系総務課庶務係

電話 025-262-6364 /ファックス 025-262-7663

Mail js-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

新潟大学法学部長 上村 都

Mail js-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

12. その他

(1) 別紙様式 4、5-1、および「履歴書・業績書(記入要領)」は JREC-IN よりダウンロードしてください。記入要領を参考にして記入してください。

(2) 本学は男女共同参画を推進しており、業績（教育、研究、社会貢献ほか）が同等であれば、女性を優先的に採用します。

(3) 提出された書類等の現物については希望があれば返却しますので、返却を希望する場合はその旨を申し出て下さい。着払いにて返送します。

(4) 面接を対面で行う場合の会場は新潟大学五十嵐キャンパスとなります。なお、面接に係る旅費の支給はありません。

※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター（<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。